

月	時間	題 材	題材の目標	学習活動	評価基準
4	1	オリエンテーション	年間の流れを確認する。	授業に関しての約束事を知る。	知 主
	1	教科書	教科書の中身について確認する。	教科書を読み、それぞれの項目について知る。	知 思 主 客観テストによる。
5	1	グラデーション	色彩の基本である階段状に明度差をつける。	鉛筆で白から黒へ八段階に色分けをする。	知 思 主 作成物の確認による。
6	2	レタリング	レタリングによる文字の書き方を確認する。	永という文字を明朝体で描き、約束事や造りについて知る。	知 思 主 作成物の確認による。
	6	ポートフォリオ	名前を使い明朝体の約束事やグラデーションによる彩色デザインを確認する。	自分の名前をレタリング文字で描き、色彩のグラデーションで装飾する。	知 思 主 作成物の確認による。
7	6	ポスター	ポスターの役割を知り、デザイン性や内容について構想し、製作する工程に沿って作る。	実際に募集されているものを使い、課題となったテーマに沿ってポスターを製作する。	知 思 主 作成物の確認による。
9	10	凹版版画	版画の種類を確認し、生活の中でも使用されたものにつながっていることを知る。	凹凸平孔の四種類の版画を知る。印刷やプリント染色などのことを確認する。	知 知 客観テストによる。
10		エッチング	西洋で発展した銅板版画を学習し絵画としての版画の奥深さを体感する。	写真をトレースし、版に写していく。版を腐食しインクを詰め、プレス機を使って印刷をする。	知 思 主 作成物の確認による。
11	2	粘土の作品について。	粘土の使用による様々な課題を確認し構想を練る。	材料の特性や使用できる道具の扱いなど課題を確認しテーマに沿ってデザインする。	知 思

12.	6	加工粘土で作る食品サンプル	今あるものではなく自分なりのアイデアで装飾されたデザインの器を作る。 実用性とは何かを考え、盛り付けするものとの関係性を意識する。	粘土をこねて、器を作っていく。 加工粘土が乾くとゆがみが出るので画用紙で補強や型を作りを乾していく。	知 思 主 作成物の確認による。 知 思 主
	1 2	加工粘土で作る食品サンプル	食品に似せて作るため、形や色彩を意識し、より高級感あるものに仕上げていく。	器の上に乗せる料理を実物大で作っていく。 ニスを使い接着するため、つやなどが出せる。	知 思 主 作成物の確認による。
3	4	細密描写デッサン	人物画の中で表現が大切なのが顔と手となることを知り、様々な角度や、細かな表現を確認する。	自分の手をモデルに絵を描いていく。	知 思 主